

【教科】道徳

【学習者】6年2組34名

【授業者】八木 あずさ

【授業日】令和7年9月20日(土) 2校時

【主題名】

たがいに信頼し合って

【資料名】

そこにぼくはいた

【ねらい】

友達と互いに信頼し合うことが本当の「友情」につながることに気づき、よりよい人間関係を築いていこうとしているか自分を見つめる。

内容項目

B 友情・信頼

【本時のねらい】

友達との違いを認め合いつつ、友達と互いに信頼し合うことの大切さに気づき、これからの自分の行動を考える。

【本時の評価規準】

友達との違いを認め合いつつ、友達と互いに信頼し合うことの大切さに気づき、これからの自分の行動を考えることができているか。

いいだろう。

友達と付き合っていく上で何を大切にしたら

・気付かなくてごめん。
・義足を付けているから大変だね。

絵

ハンデへの手助け

友達として助けたい

・ああちゃんが困っている。
・ああちゃんのために助けてあげたい。。

絵

どんな「友達」がいる

・なんでも話せる
・助け合える
・一緒に遊ぶ
・趣味について話せる

九月 二十日
道徳

主題

そこにぼくはいた

ねらい

友情について考えよう

まとめ	展開	導入	学習過程
・今後、自分がどのようにしていきたいかを考え、振り返りを書く。	・考えを共有する。 ・友達と付き合っていくうえで何を大切にしたらよいか考える。 ・手を差し出した2つの場面を比較する。	・友達とはどういう存在なのか言葉について確認する。	学習活動
10分	25分	10分	時間
☆友達との違いを認め合いつつ、友達と互いに信頼し合うことの大切さに気づき、これからの自分の行動を考え、できているか。 (ワークシート)	・様々な考えを共有し、自分の考えを広げる。 ・自分の生活と関連付けて考える。 ・同じ行動にも関わらず、主人公やああちゃんの考えが変わったわけを考える。	・いろいろな友達の考えがあることを確認する。	・指導上の留意 ☆評価方法(観点)